

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メール info@takaoka-hongwanji.jp

## ☆仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟

## 合同実践運動研修会開催

去る八月二十四日（金）西本願寺高岡会館において仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同実践運動研修会が開催され、寺院女性・仏教会員合わせて八十名余りが参加した。

今回はDVD鑑賞とそれを見た感想を話し合う午前部と、作品に込められた食肉処理場とそこで働く人たちへの偏見と差別について講師が問題提起を行い、それを受けて話し合う午後の部の二部構成で開催された。

はじめに食肉処理場で牛のと畜（解体前に牛を失神させ動脈から放血させて絶命させる作業）を担当する主人公の苦悩と葛藤を描いたDVD『いのちをいただく』を鑑賞し、普段食卓に上がる肉がどのように出来上がっているか、また、この話を通じて何を感じたかを話し合った。話し合いでは「いつも食べている食事は他のいのちを奪って成り立っているものだ」と改めて気づかされた。「食材やそれが食卓に上るまでに携わってくださった多くの人たちに感謝するためにも『いただきます』ということは大事にしていきたい」「子どもたちにも聞かせたい、いいお話だった」などの意見が出ていた。

午前の部の終了後の休憩時間には気分転換として、寺院女性会連盟執行部による歌に合わせた手遊び体操があり、「ふるさと」など誰もが知っている唱歌のメロディーに合わせて参加者が歌いながら体操をし、会場を盛り上げていた。

午後の部からは講師の林史樹さん（教区委員会副委員長長伏木組要願寺住職）より問題提起があり、『いのちをいただく』は単なる感動話ではなく、主人公の子どもが学校で親の職業を尋ねられた時にうつむきながら「普通の肉屋です」と事実と異なることをいうシーンなどは食肉解体業への偏

見と差別が今なお存在していることを表していると指摘され、「かつては牛馬の解体や処理は被差別部落の仕事であり、蔑視の対象とされていましたが、肉食が一般的になっっている今現在も『残酷な仕事をしている残酷な人たちだ』という偏見や差別が根強く残っています」と、食肉処理場とそこに携わる人々への差別の歴史と現実についてお話しされた。その中で実際に食肉処理場で働く人たちの体験談として「居酒屋で仕事の話をしていると店主やほかの客たちに『残酷だ』と非難された」「結婚して相手の実家での祝いの席で、向こうの親族に職業を尋ねられたので正直に答えたら誰も酒を注ぎに来なくなつた。その時に初めて『これが差別か』と感じた」など生々しい差別の現実を紹介された。

それを受けた話し合い法座の報告では「部落差別の問題として受け止めるのは違和感がある。色々な職業への感謝として解釈したほうがいいのでは」「そのような話をするこゝろは寝た子を起すこととなる」「差別があることを知らせればそれを元に新たな差別が起こるから話さない方がいい」「区別と差別が一緒にされていく。区別が無くな



るのはいかなものか」「富山県にはと場が無いから考えなくてもいい」という意見が多く報告された一方、「知ることが問題を理解し、解決していくことにつながる」「富山県には実際に差別が存在する。結婚や祭りなどにそれが現れるが、特に結婚の際には親や親族が差別心を子に吹き込む」という意見も報告された。

それを受けた講師所感では「寝た子を起こすな、話さない方がいい」というのは無関心だからではなく、重大な話だということを理解しているからこそその意見だと思います。でも、寝た子を起こすなでは問題は無くない、その問題をどのように知るかによって『関わらないでおう』と思うか『そんなことはおかしい』と思うか反応は変わると思います」「牧場で牛を見て『かわい』と言、と場で牛を見て『かわいそう』と言、そしてパックに詰められたお肉を見て『おいしそう』と言う。私たちは同じいのちをその時によつて都合よく見ています。この肉がどのようにできているのか、どのような差別があるのか、その事実を私に子どもにどう伝えていくのか。無知・無理解・無関心ではなく、知ること・心に留めること・目を背けないこと、それを皆さんにお願いしたいと思います」と所感を述べられた。

### ★高岡教区野球チームが三連覇！本山杯野球大会！

八月二十五日（土）、第五十五回本山杯寺族青年野球大会が高岡龍谷高校グラウンドにて開催され、寺族青年の親睦とともに熱戦が繰り広げられた。今大会も京都より本願寺チーム・富山教区本願寺クレシヤース、高岡教区野球部が、計三試合を戦った。

メインである富山教区本願寺クレシヤースとの試合では、昨年引き続き先発した公文名 智キャプテン（射水組光照寺）の好投と四番の川岸雅紀選手（五位組永賢寺）が五打点を挙げるなど打線が繋がり、七対三で高岡教区野球チームが勝利し三年連続で本山杯を手にする事ができた。今年の高岡チームは、第一試合の本願寺チームとの試合こそ〇対五と完封負けをしたが、本山杯となった富山との試合では昨年に続き初回から点が入り今年も勝利を収めた。（本願寺対富山は九対一で本願寺が勝ち二勝した。）

尚、本山杯 MVP には、富山戦で5打点の活躍をした川岸雅紀選手が、敢闘賞には二試合捕手を勤めた寺嶋宏一選手（射水組養楽寺）が選ばれた。

大会終了後、本山・富山・高岡の各教区野球部関係者による表彰式と交歓会が開催され、試合を振り返っての話で大いに盛り上がり、お互いの健闘を称えあい来年の再会を誓った。次回はV4目指して富山教区担当で八月最終土曜に行なわれる予定。

### ★「平成三十年七月豪雨」災害義援金について

本年七月、教区災害対策委員会の議を経て、教区内寺院・団体にご依頼し八月三十一日まで募集をしておりました「平成三十年七月豪雨」災害義援金については、現在までに八十八件、百四十八万八千四百一十一円（振込手数料を除く）の義援金が寄せられました。この義援金は、宗派たすけあい運動募金口座に送金いたします。

皆様からの心温まるご支援・ご協力、誠にありがとうございました。

### ☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。

お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の高島までご連絡ください。

法語カレンダー・・・150円

ほのぼのカレンダー・・・150円

月々のことば・・・700円

心に響くことば・・・120円

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

### 「中央教修了者のつどい」報告

去る八月二十五日(土)西本願寺高岡会館礼拝堂において、門徒推進員を対象とした「中央教修了者のつどい」が開催され、二十五名の参加のもとで学びを深めました。

今回のテーマは、「人権とは何か」互いを尊重していくために「日本国民は先進国の中でも人権という観念に関する理解度が低い」と指摘されています。人権意識が低いということは、人を尊重する意識が低いということであり、人権に無理解、無関心であるがゆえに、人が蔑ろにされたり、反人道的な扱いを受けても、その問題性に気づかないことに繋がります。

「誰もが尊重される世界を」と歩まれたのが阿弥陀如来という仏でありました。

そこで人権とは何かという基本的なところから学び、自分自身がそのことで、どう受け止めていくのかを考えていくことをねらいとして設定されたものです。

講義では、講師の吉田樹さん(部落解放同盟北陸事務所)が戦後の一九四六年に制定された日本国憲法の第三章国民の権利および義務「国民はすべての基本的人権の享有を妨げられない。基本的人権は侵すことのできない永久の権利として国民に与えられる」「すべての法の下に平等であつて社会的関係において差別されない云々」等の説明をした上で「今年国連で『世界人権宣言』が採択されて七十周年を迎え、世界の各国で戦争や難民問題等多くの人権問題に取り組んでいるものの、人権問題に対して多くの是正勧告を受けている日本は『従わなければならない義務はない』として勧

告を無視をすることが続いています」と人権問題に対する日本政府の意識の低さを挙げられました。

その上で、それでも近年は日本も人権侵害に対する法律を少しずつ整備しつつあり、その例として「部落差別解消法」「ヘイトスピーチ規制法」の制定を挙げられ、今後二年の間には「LGBT(性的マイノリティ)」「アイヌ問題」等への法的な取り組みも進展すると言及されました。

一方では富山県の行政には他県に比べ、人権問題を専門的に推進する部署が無く、これからの健全な社会を築こうとする目的で行政の体制強化に向けた姿勢が問われていくと指摘されました。

分散会では、「人権問題は言葉としてよく耳にするが自身の言動や人との接し方に一層不安になった」「弱者、侵害を受けて苦しんでいる人への思いやり、いたわりの心を持つことが大切」「講義を聞いて認識が変わった」一方「人間関係が希薄になっている時代の流れもありしょうがない一面もある」「富山県は暮らしやすい、住みやすい地域だから現状のままが良いのでは」との意見に講師からそのような意見が出ることも自体が異様であるとし「暮らし易い、住み易いとは誰にとって住み易いと云うのか?考えてほしい。侵害を受けている人は住みにくい処のほず、人権を脅かす発言や行為は犯罪なのです。許してはいけない」と厳しい指摘をされました。講師による助言では、「今日悩み苦しんでいる人、侵害を受けている人の実態を広く間接的に学び、一人ひとりが人権に関心を持ち意識を高めていくことが求められている。そこには宗教の力は不可欠である」と助言されました。

【高岡教区門徒推進員代表 島 高志】

◇これからの日程（9/14～9/23）◇

	教区・財団行事	教化団体・組行事
9月		
14	常例法座	
17	千鳥ヶ淵法要団参 ～18	
20	公聴会	高寿会研修旅行
21	僧侶研修会第1回 聖典セミナー	
22	僧侶研修会第2回	
25	臨時教区会	
26	僧侶研修会第3回	長寿苑ビハーラ活動 連区総代研修会～28 (岐阜教区)
27		
28		北陸藤の会例会 ハンセン病シンポジウ ム(富山)
10月		
2		仏婦広報委員会
3		仏婦教材委員会
4		富山龍谷教学会議(富 山)
5		仏婦実践運動研修会
6		寺族青年会「ふるこは んフェス」協賛
14	常例法座	
19	聖典セミナー	
23	会計検査	

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょ  
うか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱(170袋) 8,300円

・1組(10袋) 500円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内  
(寺族青年会担当)

Tel.(050)5587-7708(代表)

メール hourin18@gmail.com

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送(KNB)・73.8kHz.

◎毎週土曜日(本山制作)午前6:15～6:25

□第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00～6:10

◎9/22(土):石田 智秀氏

(本願寺派布教使・北海道妙法寺住職)

「信心とはなにか」

□9/23(日):未 定

(富山教区)

◎9/29(土):石田 智秀氏

(本願寺派布教使・北海道妙法寺住職)

「真実のこころ」

◎10/6(土):石田 智秀氏

(本願寺派布教使・北海道妙法寺住職)

「歌でつながりを」

◎10/13(土):石田 智秀氏

(本願寺派布教使・北海道妙法寺住職)

「書評がこんなに面白いわけがない」

□10/14(日):未 定

(高岡教区)

◎10/20(土):釋氏 真澄氏

(本願寺派布教使・京都府一念寺衆徒)

「未 定」

【西本願寺高岡会館10月の常例法座】

ご講師: 村上昂文氏

(高岡教区水波組西養寺)

ご講題: 『未 定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時から  
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお  
誘いあわせてお参りください。